

研修実績管理システムの概要について

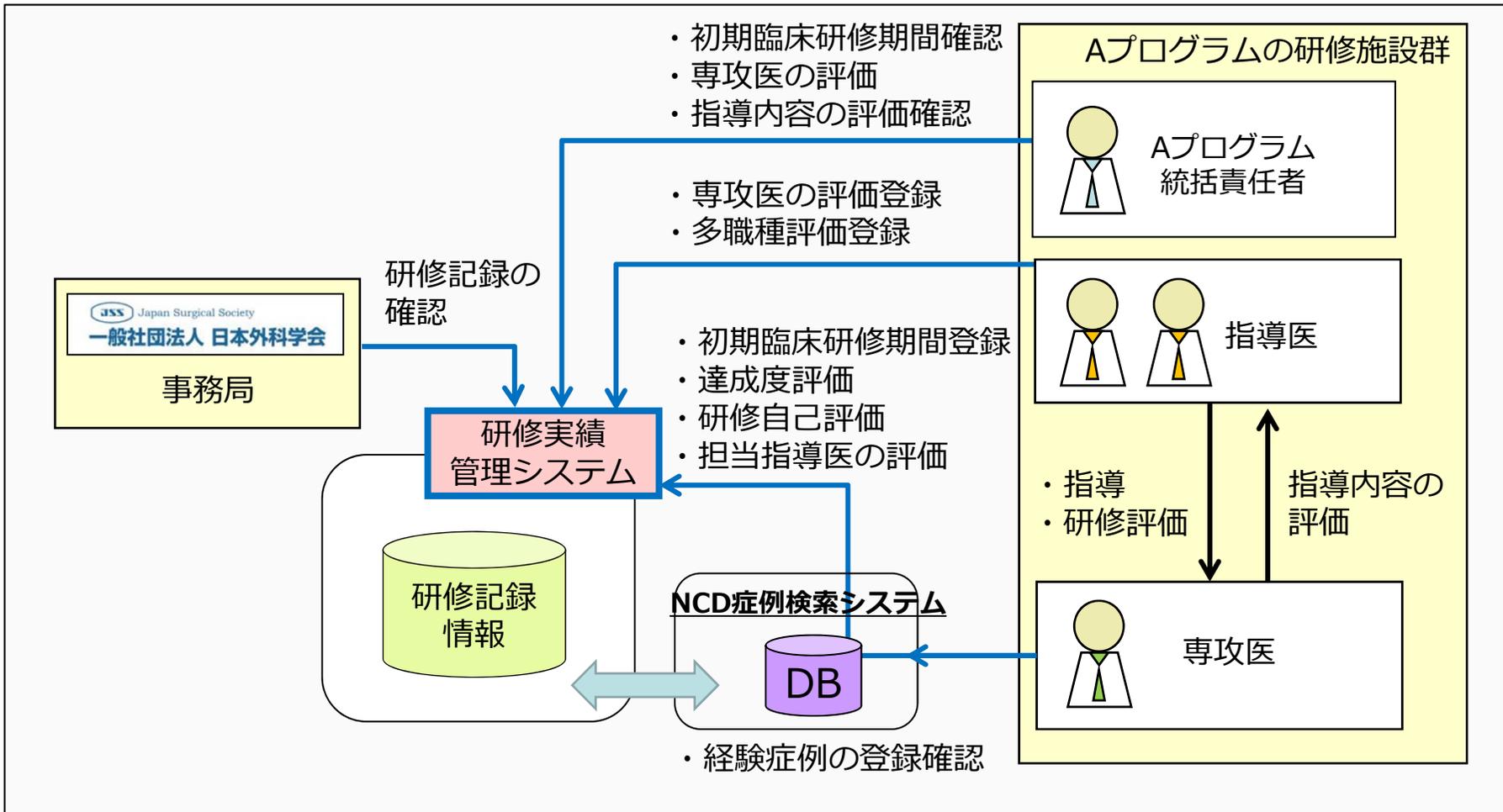
研修実績管理システムについて

研修実績管理システムは、日本専門医機構に認定された研修プログラムに基づいた研修を正確かつ効率的に運用するためのシステムです

	メリット
専攻医	1) 自己評価項目や指導医からのフィードバック内容を記録する研修手帳を、紙媒体で持ち歩くのではなく、オンライン化することで電子的に管理・確認できる
	2) 評価項目を専攻医と指導医がそれぞれで設定することでお互いの観点の違いやギャップを確認し合うコミュニケーションのきっかけ作りとなり、知識とスキル習得に寄与する
	3) 研修修了判定時には、新専門医制度における専門医申請に必要な情報が集積される
指導医	1) 専攻医の研修状況を確認でき、知識とスキル習得状況を管理できる
	2) どの分野を向上させていくべきか検討できるため、適切な指導支援につなげられる
プログラム統括責任者	1) 専攻医からの研修指導内容評価（研修プログラムへの逆評価）を随時受け付けられるようにすることで、研修プログラム改善につなげる
	2) 専攻医の研修状況を確認できる
	3) 連携施設が、専攻医にどのような症例を何例ぐらい経験させているか確認できる

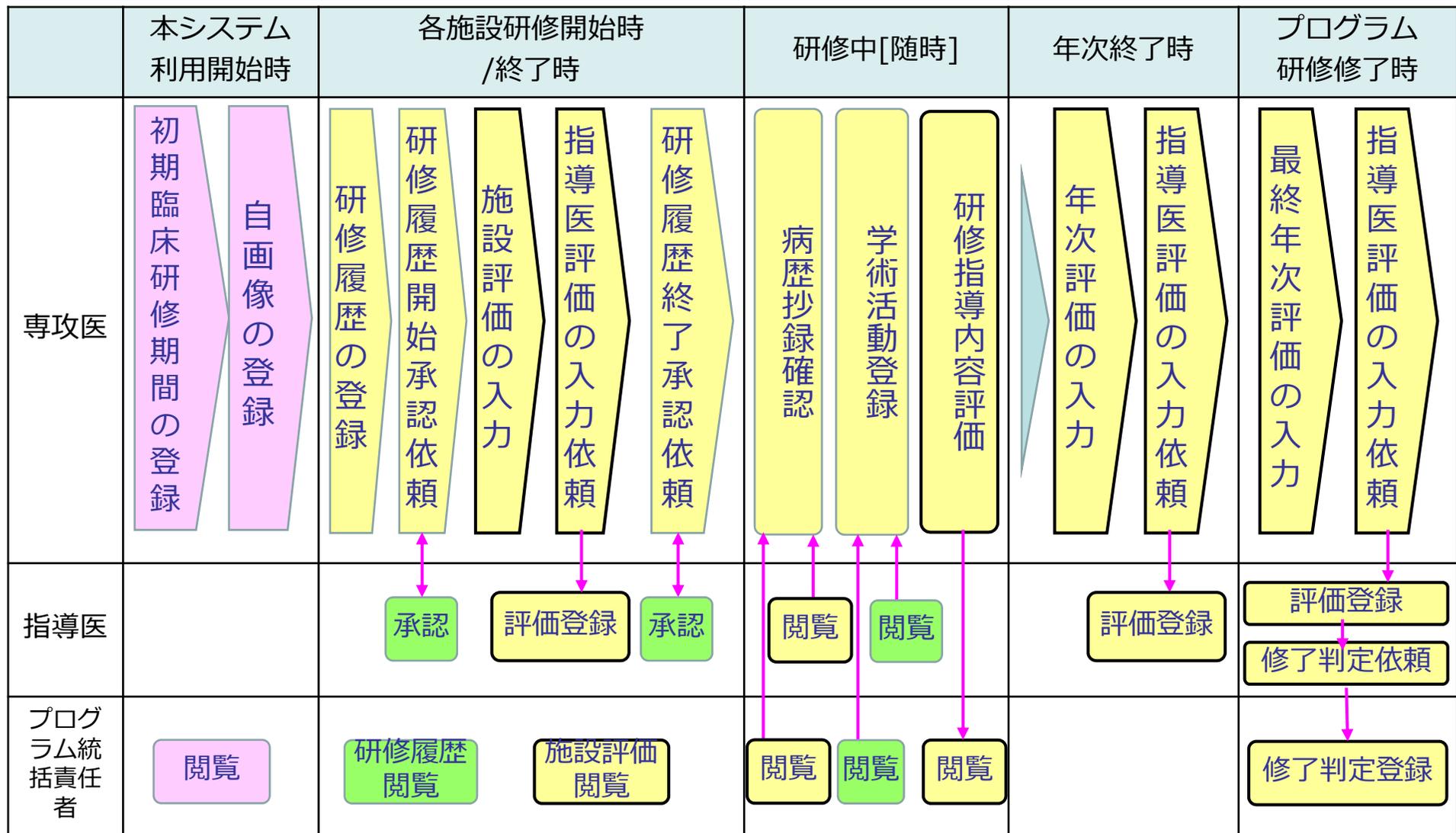
研修実績管理システムイメージ

- 1) 専攻医が研修実施中の履歴登録や施設毎の評価、年次振り返りの自己評価を登録する
- 2) 指導医からの評価・フィードバックとして施設毎の評価、年次評価を受ける
- 3) 最終的にはプログラム統括責任者より、研修修了判定を受ける



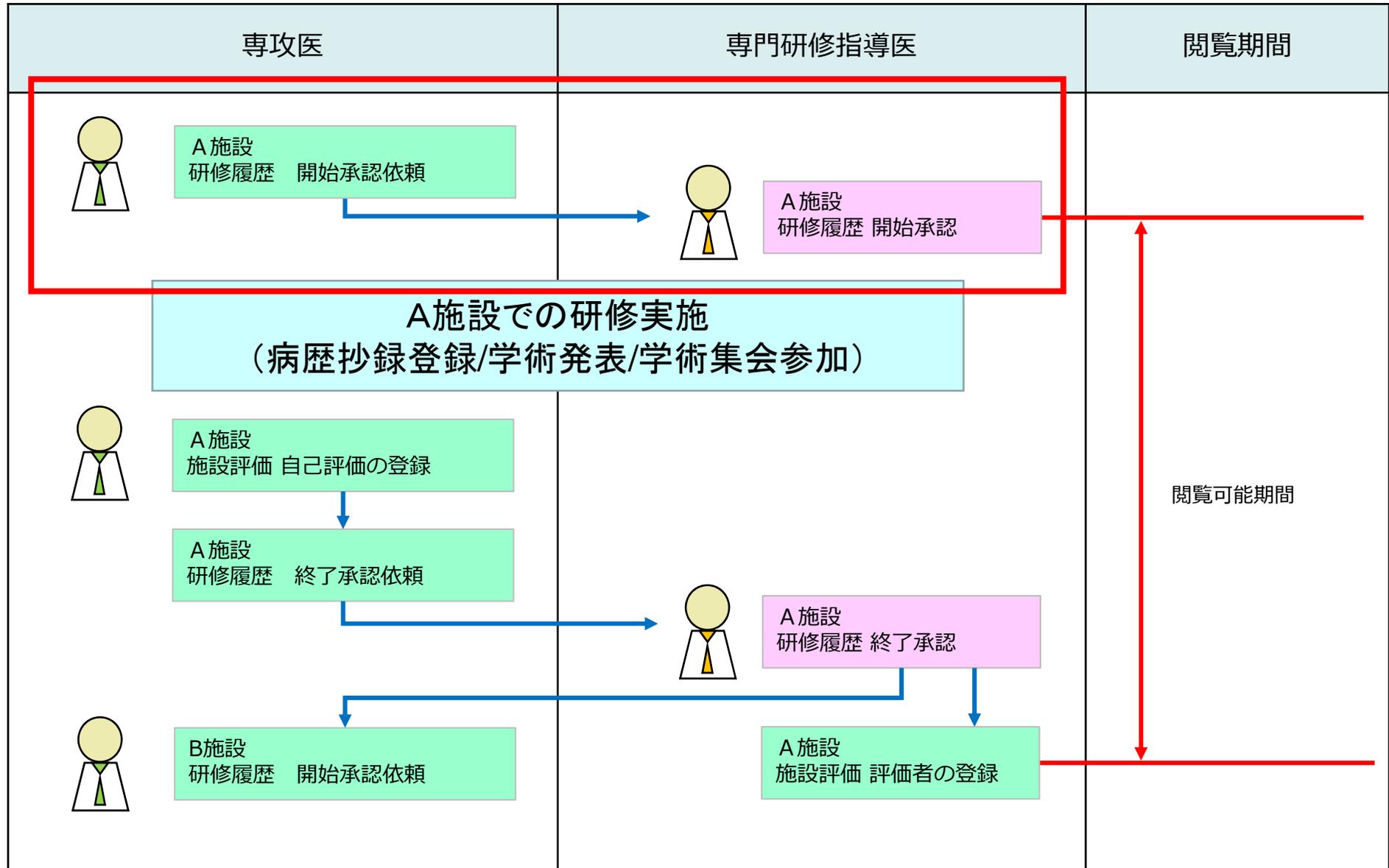
研修実績管理システム ご利用時の主な流れ

研修実績管理システムをご利用の際の主な流れは以下となります



各施設における 研修開始から終了までのフロー

研修実績管理システム利用イメージ（研修履歴登録～施設評価登録）



研修履歴登録イメージ（専攻医）

専攻医

Japan Surgical Society
一般社団法人 日本外科学会

ログアウト
会員番号: 2990802 ようこそ! 専攻医名先生

研修実績管理

研修実績管理システム

専攻医名	外科 太郎
専門研修プログラム名	外科学会専門研修プログラム
研修基幹施設名	外科学会病院
プログラム統括責任者名	外科 次郎
研修プログラム開始年月	2018/04

初期臨床研修期間確認

No Image

編集

本画面より、研修記録内容を登録してください。

- 研修履歴登録
- 病歴抄録一覧
- 学術活動
 - 学術発表（研究発表／論文発表）一覧 0 単位
 - 学術集会参加一覧 0 回
- 研修評価
 - 施設評価登録
 - 年次評価登録
 - 施設評価結果一覧
 - 年次評価結果一覧
- 研修指導内容評価入力

戻る

↑ ページのトップへ戻る

Copyright ©2018 Japan Surgical Society All Rights Reserved.

JSS Japan Surgical Society
一般社団法人 日本外科学会

専攻医は、ここから
研修履歴を登録

研修履歴登録イメージ（専攻医）

専攻医



Japan Surgical Society
一般社団法人 日本外科学会

ログアウト

会員番号：2990802 ようこそ！専攻医名先生

研修実績管理 > 研修履歴一覧

研修履歴一覧

承認済み研修履歴			残
基幹施設 (最低6ヶ月以上)	連携施設 (最低6ヶ月以上)	休止 (最大6ヶ月まで)	
6ヶ月	0ヶ月	0ヶ月	2年6ヶ月

No	期間	研修施設名	施設区分	専門研修指導医名	承認状況	承認依頼
1	2018/04~2018/10	外科学会附属病院	基幹	外科 太郎	終了 承認済み	-
2	2018/11~	外科学会病院	連携	外科 二郎	開始 登録中	

・現在研修を行っている施設名称と、当該施設で直接の指導を担当いただいている専門研修指導医の氏名を登録してください。

・施設名を選択することで、当該施設に登録されている専門研修指導医名を一覧から選択できます。

・選択された専門研修指導医から承認を得ることで、当該施設における研修が正式に開始されたものと見做されます。登録内容を確認の上、[更新]をクリックし、選択された専門研修指導医に対して研修履歴の承認依頼を行ってください。

・当該施設における研修が終了した際は、研修終了年月を改めて登録の上、研修開始時に登録の専門研修指導医へ再度、承認を依頼してください。

項目	内容
開始年月	2018/11~
研修施設名	外科学会病院 ▼
専門研修指導医名 <small>※施設指定後に登録ください。</small>	外科 二郎 ▼

更新
削除

1施設目の研修は完了

次施設の研修開始承認を登録中

研修施設を選択し研修指導医を選択の上、開始承認を依頼

研修履歴登録イメージ（専門研修指導医）

専門研修
指導医

The screenshot shows the JSS website interface for a Specialized Training Supervisor. At the top, the JSS logo and name are displayed, along with a 'Logout' button and the user's membership number (0237532) and name (ようこそ! 外科先生). A blue button labeled '専門研修指導医' is visible. Below this is a 'Main Menu' section with the title '研修実績管理システム メインメニュー'. A sub-menu '専門研修指導医メニュー' is active. Underneath, there are options to view and search for supervised specialists, a link to 'Specialized Training Search (Specialized Training Supervisor Use)', and a section for approving training history. A red box highlights the link '研修履歴未承認一覧 (未確認: 1件)'. A yellow callout box points to this link, stating: '研修指導医側はここから研修履歴を承認'. At the bottom, there is a 'Return to Top of Page' button, a copyright notice, and the JSS logo.

研修指導医側は
ここから研修履歴
を承認

研修履歴登録イメージ（専門研修指導医）

専門研修
指導医

JSS Japan Surgical Society
一般社団法人 日本外科学会

ログアウト

会員番号: 2990802 ようこそ! 外科 先生

専門研修指導医

メインメニュー > 研修履歴未承認一覧

研修履歴の承認依頼一覧

※先生の担当の専門研修指導医として、研修の開始・終了を希望する専攻医が一覧で表示されます。承認の可否を選択してください。
※専攻医名をクリックすることで、当該の専攻医の情報を確認することができます。

研修プログラム	専攻医名	開始年月	研修施設名	期間	区分	操作
外科学会専門研修プログラム	外科 六郎	2018/04	外科学会附属病院	2018/11~	開始	<input type="button" value="承認"/> <input type="button" value="否認"/>

[戻る](#)

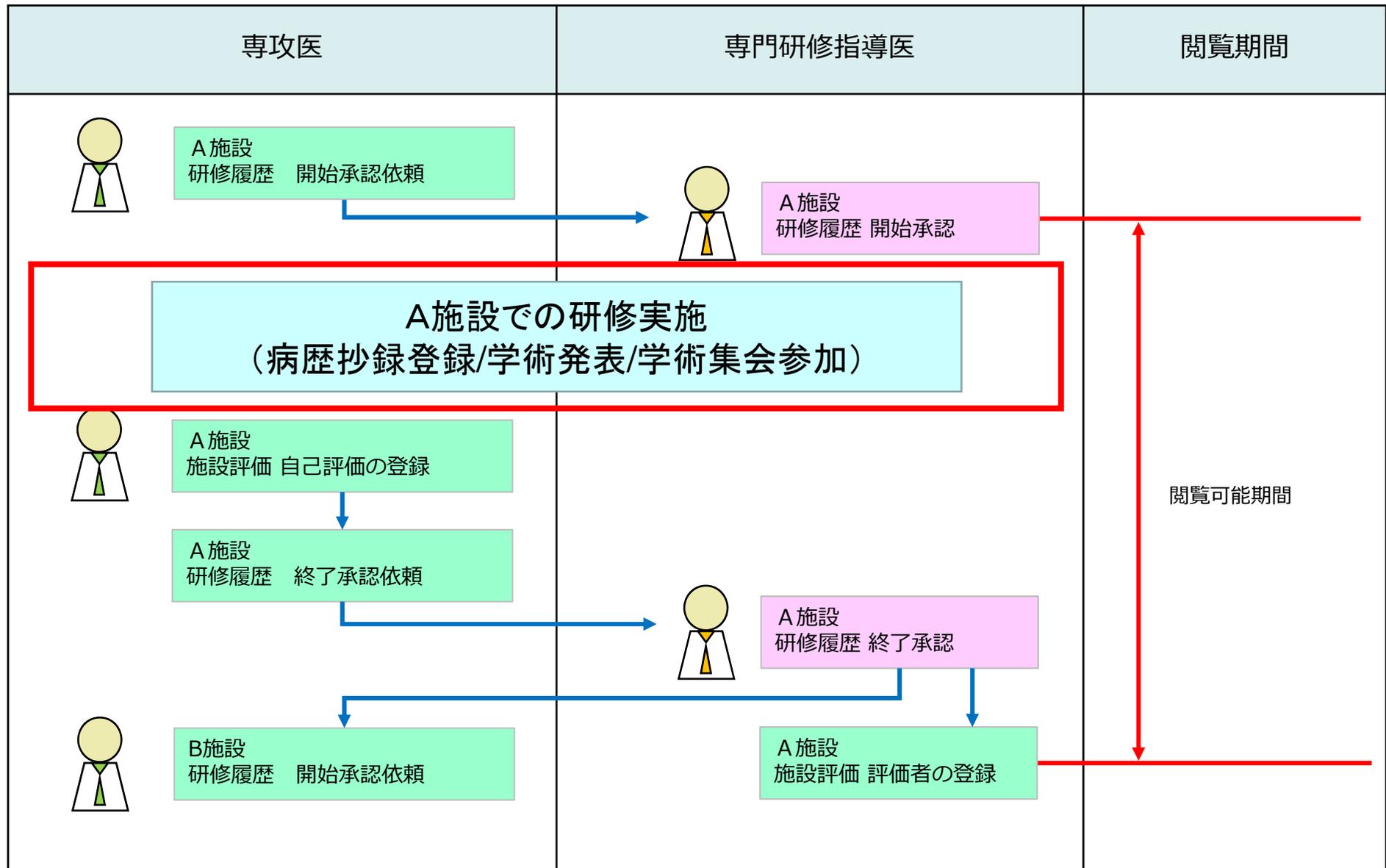
↑ ページのトップへ戻る

Copyright ©2018 Japan Surgical Society All Rights Reserved.

JSS Japan Surgical Society
一般社団法人 日本外科学会

研修履歴の開始を承認

研修実績管理システム利用イメージ（研修履歴登録～施設評価登録）



研修中のご利用イメージ（専攻医）

専攻医

The screenshot shows the '研修実績管理システム' (Training Performance Management System) for a resident. At the top, the JSS logo and '一般社団法人 日本外科学会' are visible, along with a 'ログアウト' button and the user's ID '2990802' and name '専攻医名先生'. The main content area includes a table with the following details:

専攻医名	外科 太郎
専門研修プログラム名	外科学会専門研修プログラム
研修基幹施設名	外科学会病院
プログラム統括責任者名	外科 次郎
研修プログラム開始年月	2018/04

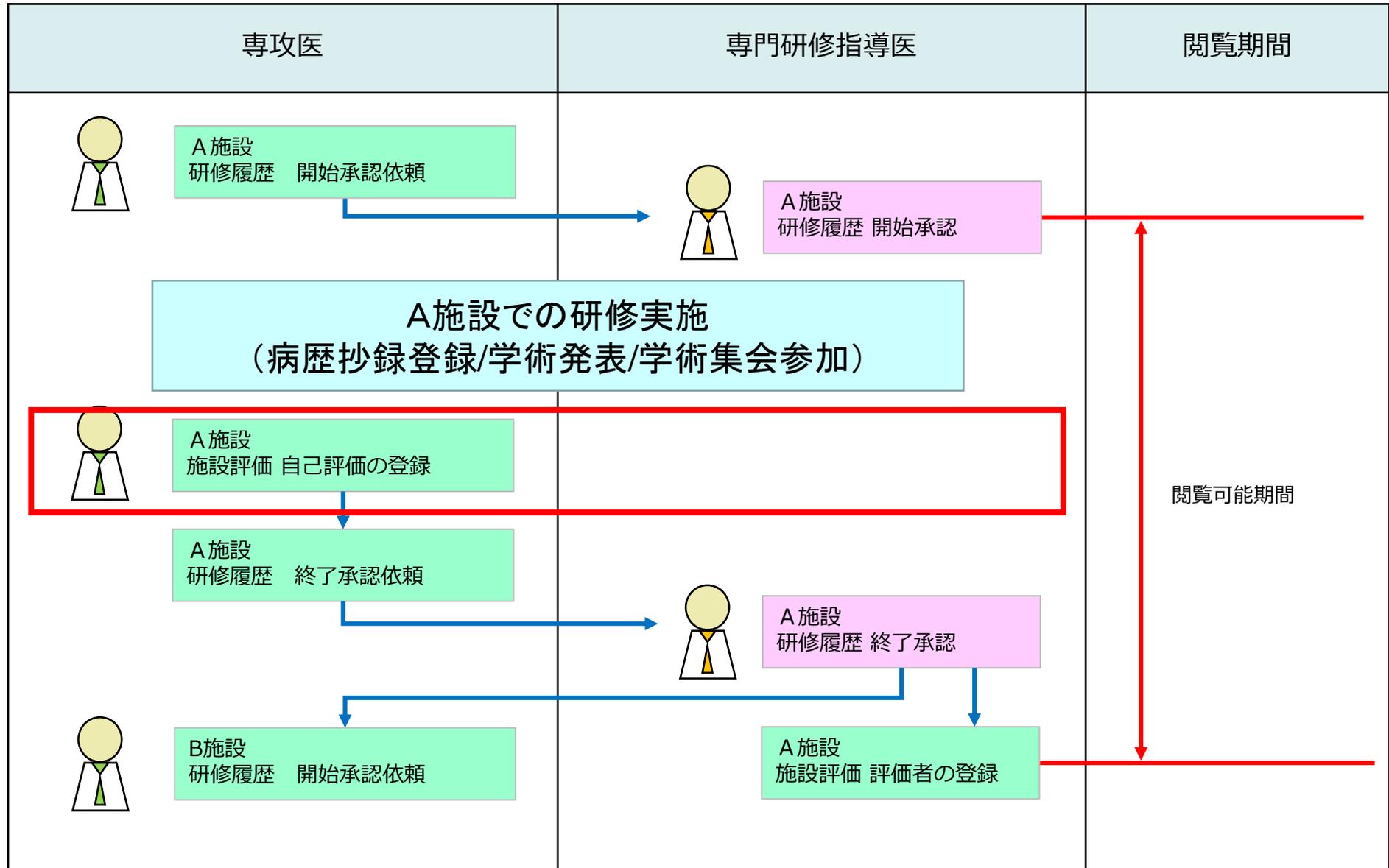
Below the table is a '初期臨床研修履歴確認' button and a '編集' link. A note states: '本画面より、研修記録内容を登録してください。' The main menu on the left includes:

- 研修履歴登録
- 病歴抄録一覧
- 学術活動
 - 学術発表（研究発表／論文発表）一覧
 - 学術集会参加一覧
- 研修評価
 - 施設評価登録
 - 年次評価登録
 - 施設評価結果一覧
 - 年次評価結果一覧
- 研修指導内容評価入力

At the bottom, there is a '戻る' button, a 'ページのトップへ戻る' link, and the copyright notice 'Copyright ©2018 Japan Surgical Society All Rights Reserved.' and the JSS logo.

・病歴抄録の確認
(NCD症例検索システムへ遷移)
・学術発表、学術集会参加登録

研修実績管理システム利用イメージ（研修履歴登録～施設評価登録）



研修実績管理システム利用イメージ（研修履歴登録～施設評価登録）

専攻医

The screenshot shows the user interface of the JSS training performance management system. At the top, the JSS logo and name 'Japan Surgical Society 一般社団法人 日本外科学会' are displayed, along with a 'ログアウト' button and the user's membership number '2990802' and name '専攻医名先生'. The main heading is '研修実績管理システム'. Below this is a table with the following information:

専攻医名	外科 太郎
専門研修プログラム名	外科学会専門研修プログラム
研修基幹施設名	外科学会病院
プログラム統括責任者名	外科 次郎
研修プログラム開始年月	2018/04

To the right of the table is a placeholder for a profile picture labeled 'No Image'. Below the table, there is a '初期臨床研修履歴確認' button and a '編集' link. A note states: '本画面より、研修記録内容を登録してください。'. The main menu includes several options:

- 研修履歴登録
- 病歴抄録一覧
- 学術活動
 - 学術発表（研究発表／論文発表）一覧 0 単位
 - 学術集会参加一覧 0 回
- 研修評価
 - 施設評価登録
 - 年次評価登録
 - 施設評価結果一覧
 - 年次評価結果一覧
- 研修指導内容評価入力

A red box highlights the '-施設評価登録' option, and a yellow callout bubble points to it with the text: '専攻医はここから施設評価を登録'. At the bottom, there is a '戻る' link, a 'ページのトップへ戻る' link, and the copyright notice 'Copyright ©2018 Japan Surgical Society All Rights Reserved.' and the JSS logo.

専攻医はここから
施設評価を登録

研修実績管理システム利用イメージ（研修履歴登録～施設評価登録）

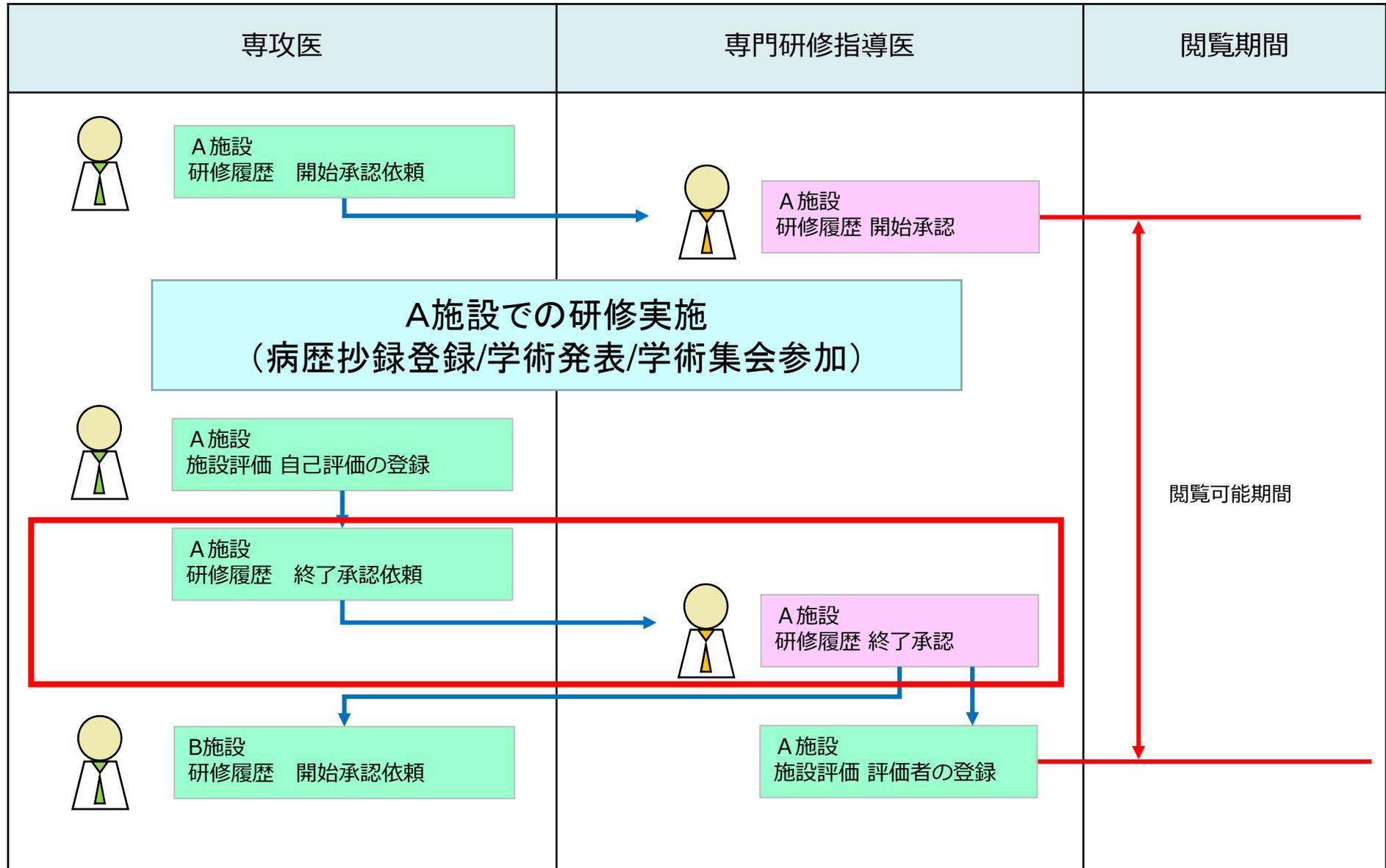
専攻医

項目	ステータス
到達目標1（専門知識）： 外科診療に必要な下記の基礎的知識・病態を習熟し、臨床応用できる	登録中
到達目標2（専門技能）： 外科診療に必要な検査・処置・麻酔手技に習熟し、それらの臨床応用ができる	登録済
到達目標3（学問的姿勢）： 外科学の進歩に合わせた生涯学習の基本を習得し実行できる	登録中
到達目標4（倫理性、社会性など）： 外科診療を行う上で、医の倫理や医療安全に基づいたプロフェッショナルとして適切な態度と習慣を身に付ける	未登録
経験目標1： 外科診療に必要な下記の疾患を経験または理解する	登録済
経験目標2（手術・処置）： 外科診療に必要な各領域の手術を経験する	登録済
経験目標3： 地域医療への外科診療の役割を習熟し、実行できる その他	登録済
他職種からの評価	※入力不要
専門医機構主催の講習会参加	※入力不要

項目	ステータス
到達目標1（専門知識）： 外科診療に必要な下記の基礎的知識・病態を習熟し、臨床応用できる	登録中
到達目標2（専門技能）： 外科診療に必要な検査・処置・麻酔手技に習熟し、それらの臨床応用ができる	登録済
到達目標3（学問的姿勢）： 外科学の進歩に合わせた生涯学習の基本を習得し実行できる	登録中
到達目標4（倫理性、社会性など）： 外科診療を行う上で、医の倫理や医療安全に基づいたプロフェッショナルとして適切な態度と習慣を身に付ける	未登録
経験目標1： 外科診療に必要な下記の疾患を経験または理解する	登録済
経験目標2（手術・処置）： 外科診療に必要な各領域の手術を経験する	登録済
経験目標3： 地域医療への外科診療の役割を習熟し、実行できる その他	登録済
他職種からの評価	※入力不要
専門医機構主催の講習会参加	※入力不要

専攻医は評価者（研修履歴登録時に選択した専門研修指導医、もしくは施設代表者）を選択します。
 ※どのような項目を登録するかに関する画面イメージは、22、23ページをご参照ください（詳細な登録項目については、別途公開中の一覧表をご参照ください）。

研修実績管理システム利用イメージ（研修履歴登録～施設評価登録）



研修実績管理システム利用イメージ（研修履歴登録～施設評価登録）

専攻医



Japan Surgical Society
一般社団法人 日本外科学会

[ログアウト](#)
会員番号：2990802 ようこそ！専攻医名先生

研修実績管理 > 研修履歴一覧

研修履歴一覧

承認済み研修履歴			残
基幹施設 (最低6ヶ月以上)	連携施設 (最低6ヶ月以上)	休止 (最大6ヶ月まで)	
6ヶ月	0ヶ月	0ヶ月	2年6ヶ月

No	期間	研修施設名	施設区分	専門研修指導医名	承認状況	承認依頼
1	2018/04～2018/10	外科学会附属病院	基幹	外科 太郎	終了 承認済み	-
2	2018/11～	外科学会病院	連携	外科 二郎	開始 登録中	-

・現在研修を行っている施設名称と、当該施設で直接の指導を担当いただいている専門研修指導医の氏名を登録してください。
 ・施設名を選択することで、当該施設に登録されている専門研修指導医名を一覧から選択できます。
 ・選択された専門研修指導医から承認を得ることで、当該施設における研修が正式に開始されたものと見做されます。登録内容を確認の上、[登録]をクリックし、選択された専門研修指導医に対して研修履歴の承認依頼を行ってください。
 ・当該施設における研修が終了した際は、研修終了年月を改めて登録の上、研修開始時に登録の専門研修指導医へ再度、承認を依頼してください。

項目	内容
開始年月	2018/11～
終了年月	2018 年 12 月
研修施設名	外科学会病院(連携施設)
専門研修指導医名	外科 二郎

登録

研修履歴の終了年月を登録し、承認依頼

17

研修実績管理システム利用イメージ（研修履歴登録～施設評価登録）

専門研修
指導医

JSS Japan Surgical Society
一般社団法人 日本外科学会
ログアウト
会員番号: 0237532 ようこそ 外科 先生
専門研修指導医

メインメニュー > 研修履歴未承認一覧

研修履歴の承認依頼一覧

※先生の担当の専門研修指導医として、研修の開始・終了を希望する専攻医が一覧で表示されます。承認の可否を選択してください。
※専攻医名をクリックすることで、当該の専攻医の情報を確認することができます。

研修プログラム	専攻区名	開始年月	研修施設名	期間	区分	操作
外科学会専門研修プログラム	外科 良太郎	2018/04	外科学会附属病院	2018/11～2018/12	終了	<input type="button" value="承認"/> <input type="button" value="否認"/>

戻る

研修履歴の終了を承認

↑ ページのトップへ戻る

Copyright ©2018 Japan Surgical Society All Rights Reserved. JSS Japan Surgical Society 一般社団法人 日本外科学会

研修実績管理システム利用イメージ（研修履歴登録～施設評価登録）

専門研修
指導医

JSS Japan Surgical Society
一般社団法人 日本外科学会

ログアウト
会員番号: 0237532 ようこそ! 外科先生

研修履歴 評価・申し送りコメント

専攻医氏名: 外科 太郎
研修施設: 外科学会附属病院

当該専攻医の指導を引き継がれる専門研修指導医への申し送り事項を記載してください（必須入力）。
記載する内容や形式に制限はありませんが、例えば貴施設での研修態度や主な研修内容（経験した領域や症例・術式）といった、今後の指導の上で参考にすべき内容を自由に記載してください。

【入力例1】
研修態度は非常にまじめで患者さんや家族に対しても常に誠実でしたが、やや積極性にかける点が今後の研修課題です。手術経験も消化管・腹部内臓、乳腺、小児外科領域ではそれぞれ〇例と目標を達成することができましたが、心臓・大血管、末梢血管、外傷などの手術経験は十分ではありませんでした。また、第〇回日本外科学会定期学術集会でポスター発表をしております。引き続き研修指導をよろしくお願い致します。

【入力例2】
手術などに積極的に参加し、疾患に対する知識もある程度習得していますが、患者さんに対するコミュニケーション能力とチーム医療の連携は今後の課題です。手術経験もほとんどの領域で必要数を満たしていますが、小児外科が〇例、術者としての経験が△例、外傷も〇点不足しております。また、第〇回外科集談会で口演発表をしております。引き続き研修指導をよろしくお願い致します。

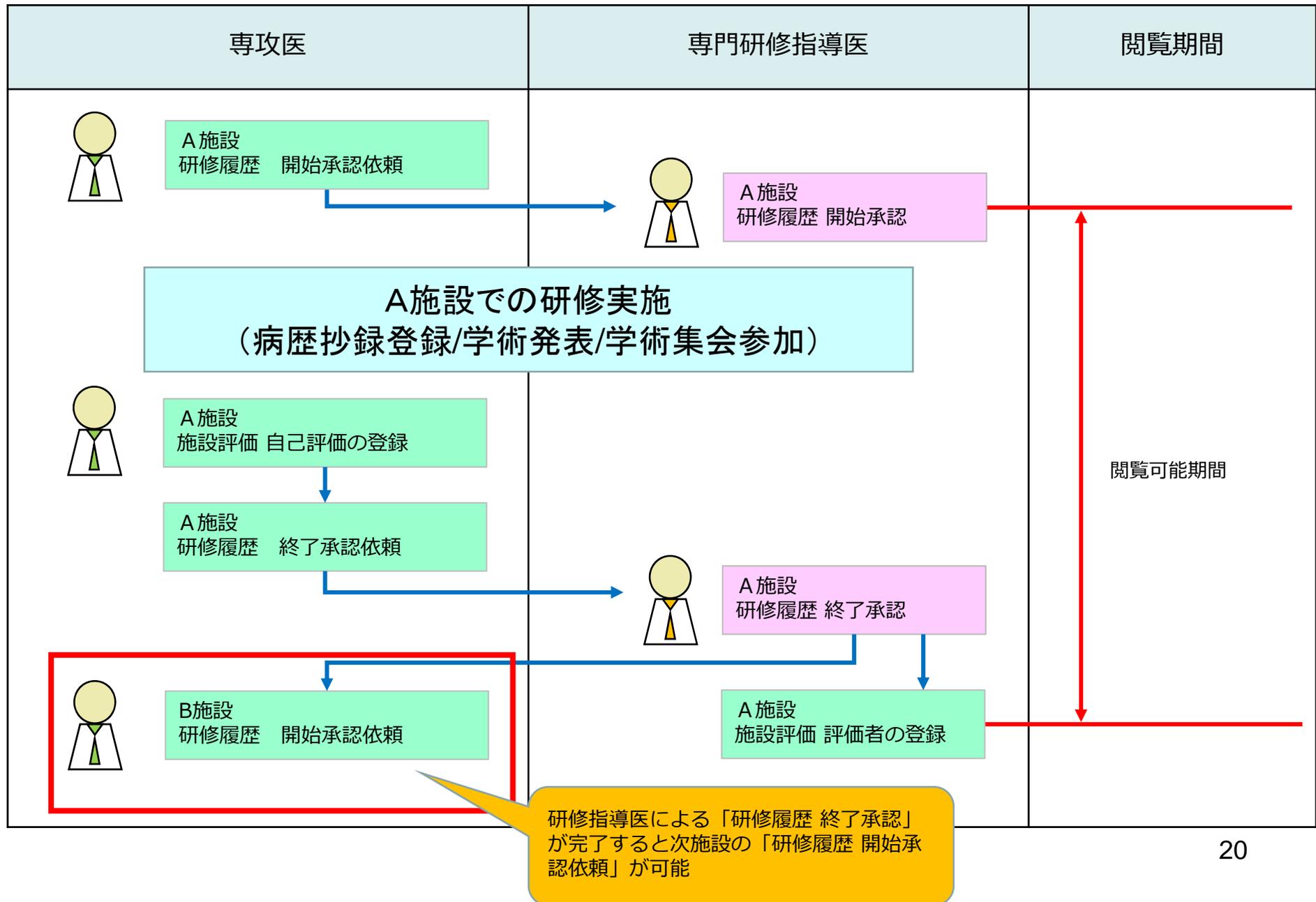
キャンセル 承認

↑ ページのトップへ戻る

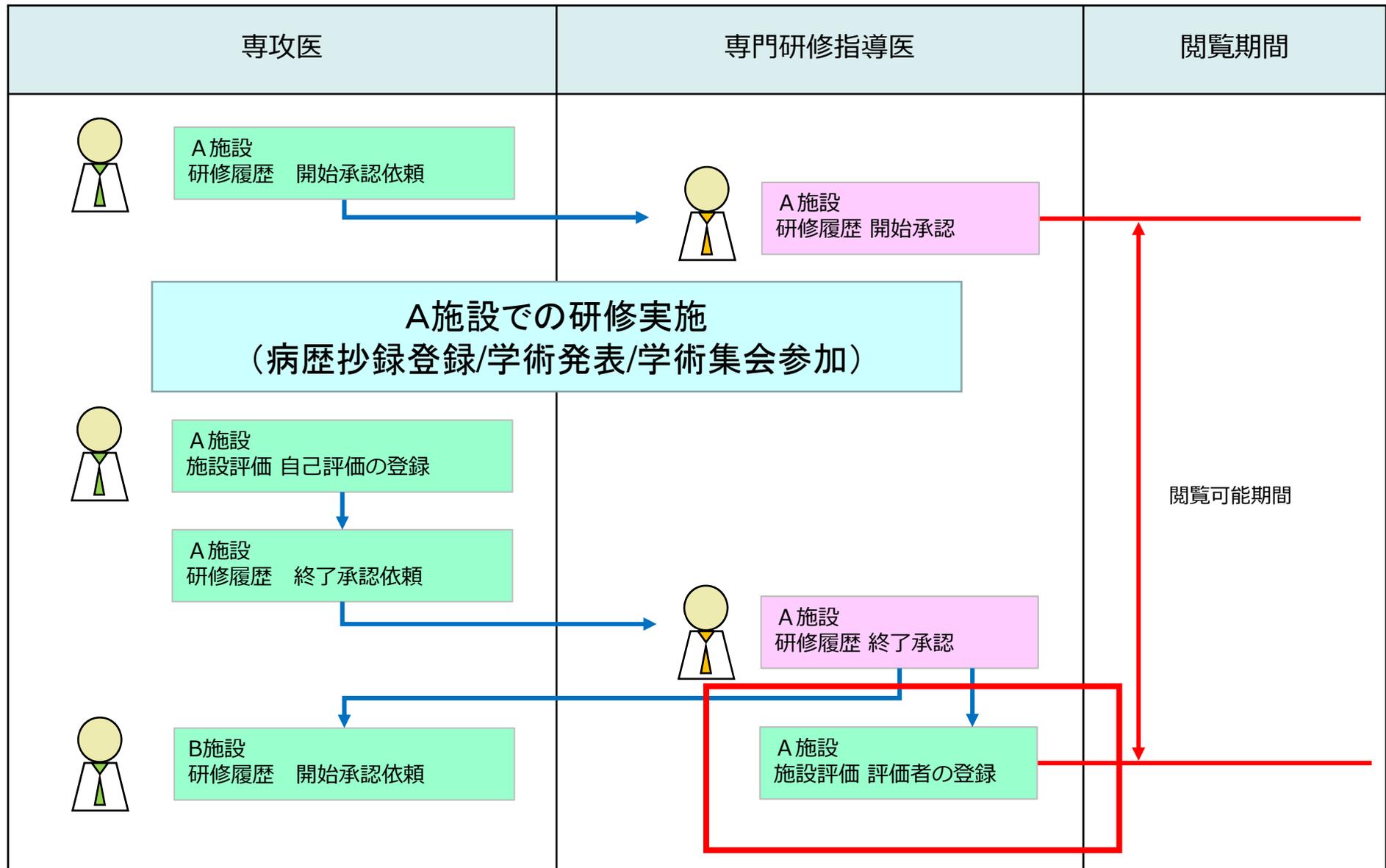
Copyright ©2018 Japan Surgical Society All Rights Reserved.
Japan Surgical Society
一般社団法人 日本外科学会

申し送りコメントを入力し、承認することでA施設の研修が完了

研修実績管理システム利用イメージ（研修履歴登録～施設評価登録）



研修実績管理システム利用イメージ（研修履歴登録～施設評価登録）



研修実績管理システム利用イメージ（研修履歴登録～施設評価登録）

NTT付属病院（2018/06～2018/12）
専攻医名：外科 太郎 先生

各評価項目のステータスを「登録済」にすると、[評価完了]ボタンが表示されます。[評価完了]ボタンをクリックすると、評価完了となります。

項目	ステータス
到達目標1（専門知識）： 外科診療に必要な下記の基礎的知識・病態を習熟し、臨床応用できる	登録中
到達目標2（専門技能）： 外科診療に必要な検査・処置・麻酔手技に習熟し、それらの臨床応用ができる	登録済
到達目標3（学問的姿勢）： 外科学の進歩に合わせた生涯学習の基本を習得し実行できる	登録中
到達目標4（倫理性、社会性など）： 外科診療を行う上で、医の倫理や医療安全に基づいたプロフェッショナルとして適切な態度と習慣を身に付ける	未登録
経験目標1： 外科診療に必要な下記の疾患を経験または理解する	登録済
経験目標2（手術・処置）： 外科診療に必要な各領域の手術を経験する	登録済
経験目標3： 地域医療への外科診療の役割を習熟し、実行できる その他	
他職種からの評価	登録中
専門医機構主催の講習会参加	未登録

[年次評価結果一覧](#) [施設評価結果一覧](#)

到達目標と経験目標について、研修施設毎および年次で評価を登録します。

施設評価登録

NTT付属病院（2018/06～2018/12）
専攻医名：外科 太郎 先生

A：十分に理解して相談に応じられる、B：的確に内容を説明できる
 C：知識はあるが実践に至らない、D：知識が不足している、N/A：評価に該当しない

到達目標1： 外科診療に必要な下記の基礎的知識を習熟し、臨床応用できる。	基準値 (到達レベル)	自己 評価	指導者 評価	期間：2018/01～2018/05 施設：NTTR病院 指導医：外科 太郎 評価者：山田 花子
(1) 局所解剖				
手術をはじめとする外科診療上で必要な局所解剖について述べる ことができる。	A	A	A	A
(2) 病理学				
外科病理学の基礎を理解している。	A	B	A	B
(3) 腫瘍学				
1 発癌、転移形成およびTNM 分類について述べる ことができる。	A	B	A	C
2 手術、化学療法および放射線療法の適応を述べる ことができる。				
3 化学療法（抗腫瘍薬、分子標的薬など）と放射線療法 の有害事象について理解している。				
(4) 病態生理				
1 周術期管理などに必要な病態生理を理解している。	A	B	A	D
2 手術侵襲の大きさと手術のリスクを判断する ことができる。				
(5) 輸液・輸血				
周術期・外傷患者に対する輸液・輸血について述べる ことができる。	A	B	A	N/A
(6) 血液凝固と線溶現象				
1 出血傾向を鑑別できる。	A	B	A	A
2 血栓症の予防、診断および治療の方法について述べる ことができる。				
(7) 栄養・代謝学				
1 病態や疾患に応じた必要熱量を計算し、適切な経腸、経静脈栄養				

研修実績管理システム利用イメージ（研修履歴登録～施設評価登録）

NTT付属病院（2018/06～2018/12）

専攻医名：外科 太郎 先生

各評価項目のステータスを「登録済」にすると、「[評価完了]」ボタンが表示されます。[評価完了]ボタンをクリックすると、評価完了となります。

項目	ステータス
到達目標1（専門知識）： 外科診療に必要な下記の基礎的知識・病態を習熟し、臨床応用できる	登録中
到達目標2（専門技能）： 外科診療に必要な検査・処置・麻酔手技に習熟し、それらの臨床応用ができる	登録済
到達目標3（学問的姿勢）： 外科学の進歩に合わせた生涯学習の基本を習得し実行できる	登録中
到達目標4（倫理性、社会性など）： 外科診療を行う上で、医の倫理や医療安全に基づいたプロフェッショナルとして適切な態度と習慣を身に付ける	未登録
経験目標1： 外科診療に必要な下記の疾患を経験または理解する	登録済
経験目標2（手術・処置）： 外科診療に必要な各領域の手術を経験する	登録済
経験目標3： 地域医療への外科診療の役割を習熟し、実行できる その他	
他職種からの評価	登録中
専門医機構主催の講習会参加	未登録

年次評価結果一覧 施設評価結果一覧

施設評価結果一覧 +ALL -ALL

到達目標1（専門知識）
外科診療に必要な下記の基礎的知識・病態を習熟し、臨床応用できる

A：十分に理解して相談に応じられる、B：的確に内容を説明できる、C：知識はあるが実践に至らない、D：知識が不足している、N/A：評価に該当しない

評価基準	自2018/01～2018/05		自2018/01～2018/03		自2018/04～2018/05	
	専攻医	指導者	専攻医	指導者	専攻医	指導者
(1) 局所解剖						
手術をはじめとする外科診療上で必要な局所解剖について述べるができる。	A	A	A	B	A	A
(2) 病理学						
外科病理学の基礎を理解している。	A	A	A	B	A	A
(3) 腫瘍学						
1 発癌、転移形成およびTNM分類について述べるができる。						
2 手術、化学療法および放射線療法の適応を述べるができる。	A	A	A	B	A	A
3 化学療法（抗腫瘍薬、分子標的薬など）と放射線療法の有害事象について理解している。						
(4) 病態生理						
1 周期管理などに必要な病態生理を理解している。						
2 手術侵襲の大きさと手術のリスクを判断することができる。	A	B	B	B	B	B
(5) 輸液・輸血						
周期管理・外傷患者に対する輸液・輸血について述べるができる。	A	D	N/A	C	C	B

評価結果が蓄積され、その情報は専攻医の他、プログラム統括責任者、各研修施設で選定された専門研修指導医、実際の指導を担当する専門研修指導医が適宜確認できます。